

R5米沢市雪対策に関するアンケート集計結果

調査日時
配付数
回答者数
回収率

R5
令和5年2月1日～令和5年2月24日
1000 人
473 人（前回比 +79人）
47.3%（前回比 +7.9%）

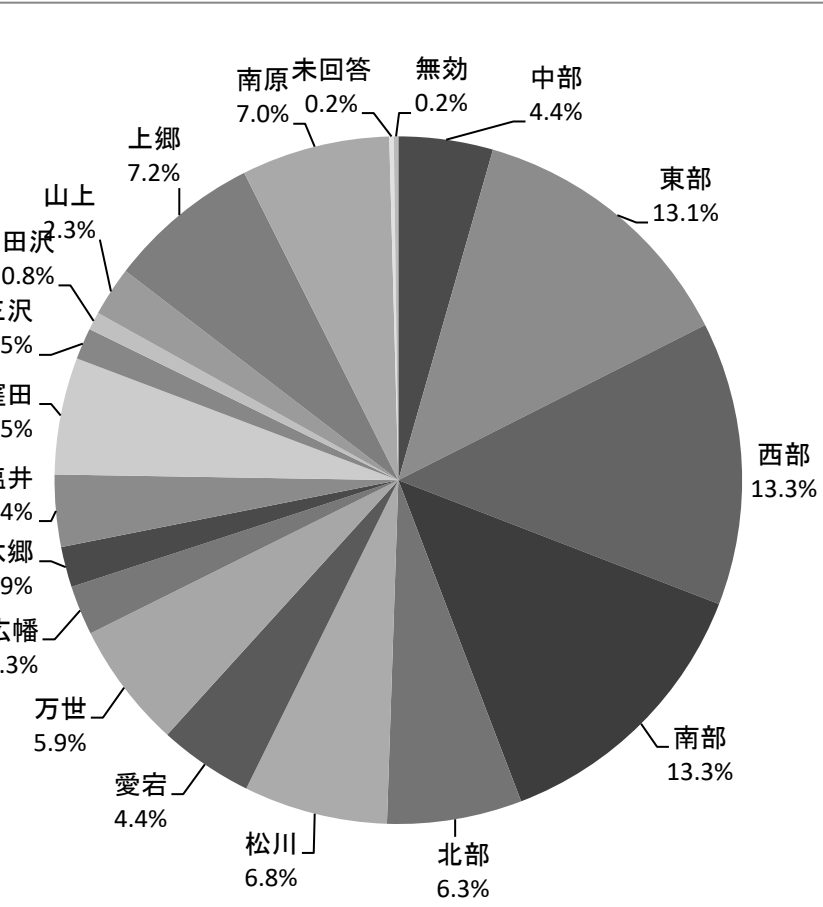
H29
平成28年12月27日～平成29年1月31日
1000 人
394 人
39.4%

問1 属性
問1-1. お住まいの地区

単位：人

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	中部	21	4.4%	14	3.6%	+0.8%
2	東部	62	13.1%	62	15.7%	-2.6%
3	西部	63	13.3%	48	12.2%	+1.1%
4	南部	63	13.3%	36	9.1%	+4.2%
5	北部	30	6.3%	42	10.7%	-4.4%
6	松川	32	6.8%	22	5.6%	+1.2%
7	愛宕	21	4.4%	18	4.6%	-0.2%
8	万世	28	5.9%	24	6.1%	-0.2%
9	広幡	11	2.3%	5	1.3%	+1.0%
10	六郷	9	1.9%	4	1.0%	+0.9%
11	塩井	16	3.4%	9	2.3%	+1.1%
12	窪田	26	5.5%	35	8.9%	-3.4%
13	三沢	7	1.5%	8	2.0%	-0.5%
14	田沢	4	0.8%	3	0.8%	0.0
15	山上	11	2.3%	3	0.8%	+1.5%
16	上郷	34	7.2%	27	6.9%	+0.3%
17	南原	33	7.0%	30	7.6%	-0.6%
未回答 未回答		1	0.2%	3	0.8%	-0.6%
無効 無効		1	0.2%	1	0.3%	-0.1%
計 計		473		394		

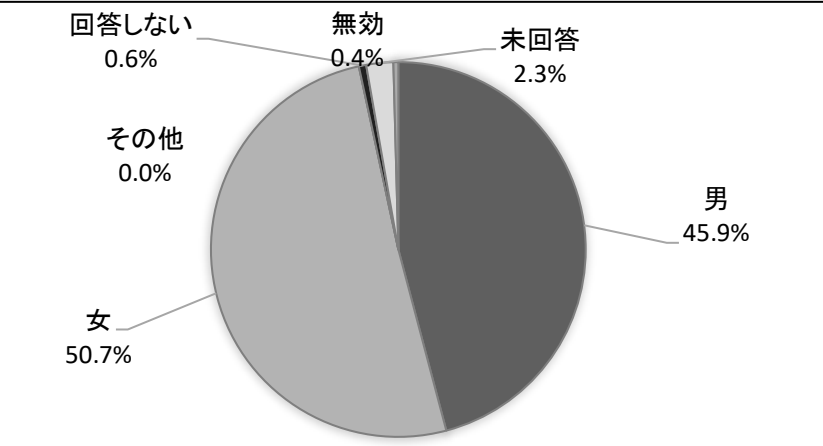
全住民基本台帳の地区ごとの人口割合（令和4年12月1日現在）と比較し、実際の地域人口比率とは異なるものの、地域人口の分布傾向は実際の分布に近いものとなっていることから、特定の地域の意見が強く反映されたものではなく、概ね市全体の意見を反映していると考えられる。



問1-2. 性別

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	男	217	45.9%	167	42.4%	+3.5%
2	女	240	50.7%	215	54.6%	-3.9%
3	その他	0	0.0%		0.0%	0.0
4	回答しない	3	0.6%		0.0%	+0.6%
未回答 未回答		11	2.3%	11	2.8%	-0.5%
無効 無効		2	0.4%	1	0.3%	+0.1%
計 計		473		394		

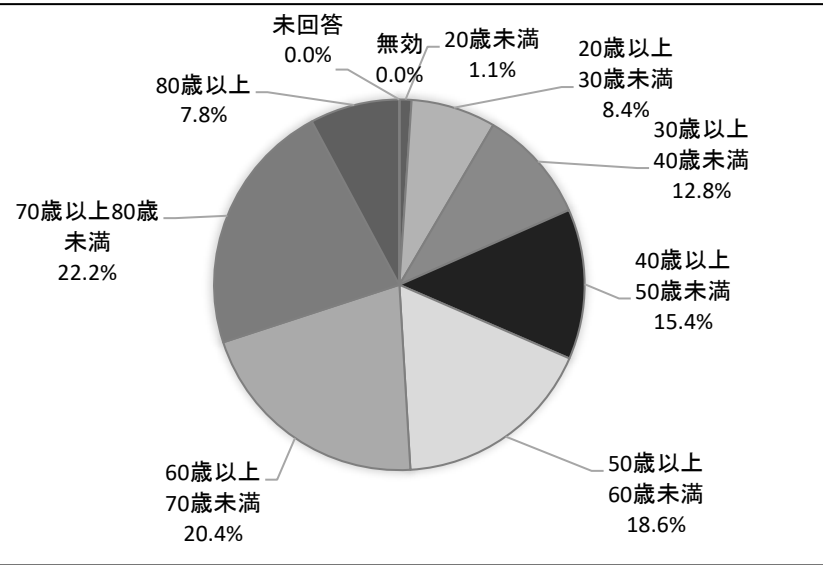
住民基本台帳の男女別人口割合（男性49.1%、女性50.9% 令和4年12月1日現在）と比較すると男性の比率が3.2ポイント少なく、女性はほぼ同数。全体の調査結果は、女性の意向がやや強めに反映していると考えられる。
平成29年アンケートと比較すると、男性の回答率が上がり（+3.5ポイント）、逆に女性の回答率が下がる（△3.9ポイント）結果となった。



問1-3. 年齢

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	20歳未満	5	1.1%	11	2.8%	-1.7%
2	20歳以上30歳未満	35	7.4%	32	8.1%	-0.7%
3	30歳以上40歳未満	47	9.9%	51	12.9%	-3.0%
4	40歳以上50歳未満	62	13.1%	61	15.5%	-2.4%
5	50歳以上60歳未満	83	17.5%	73	18.5%	-1.0%
6	60歳以上70歳未満	99	20.9%	82	20.8%	+0.1%
7	70歳以上80歳未満	105	22.2%	82	20.8%	+1.4%
8	80歳以上	37	7.8%		0.0%	+7.8%
未回答 未回答		0	0.0%	1	0.3%	-0.3%
無効 無効		0	0.0%	1	0.3%	-0.3%
計 計		473		394		

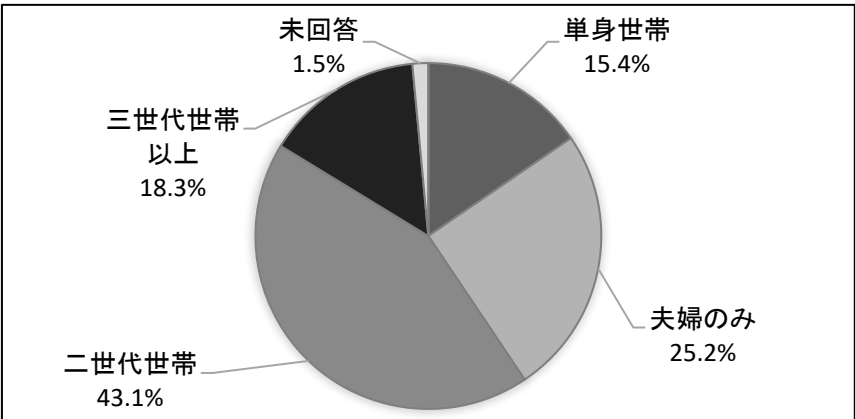
住民基本台帳の年齢別人口集計の構成比（令和4年12月1日現在）と比べると、「20歳以上30歳未満」が少なく（△4.4ポイント）、逆に「70歳以上80歳未満」の回答率が多い（+4.9ポイント）という結果が得られた。全体として、年齢の高い方（50歳以上）の回答率が高い傾向にあり、これは平成29年アンケートと同様の結果となった。



問1-4. 家族構成

	R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1 単身世帯	73	15.4%	43	10.9%	+4.5%
2 夫婦のみ	119	25.2%	83	21.1%	+4.1%
3 二世世代世帯	204	43.1%	189	48.0%	-4.9%
4 三世世代世帯以上	70	14.8%	71	18.0%	-3.2%
未回答 未回答	7	1.5%	8	2.0%	-0.5%
無効 無効	0	0.0%		0.0%	0.0
計 計	473		394		

最も多いのが「二世世代世帯」で全体の4割強を占め、「単身世帯」と「夫婦のみ」の合計も全体の4割を占めている。年齢別に見ると、「単身世帯」では60歳代及び70歳代（それぞれ16件、21.9%）、「夫婦のみ」では70歳代（38件、31.9%）の割合が最も高かった。また、60歳以上の高齢者のみの世帯（単身・夫婦のみ）は119件あり、全体の1/4（25.2%）を占めるという結果が得られ、平成29年アンケートと比較して6.4ポイント上昇している。



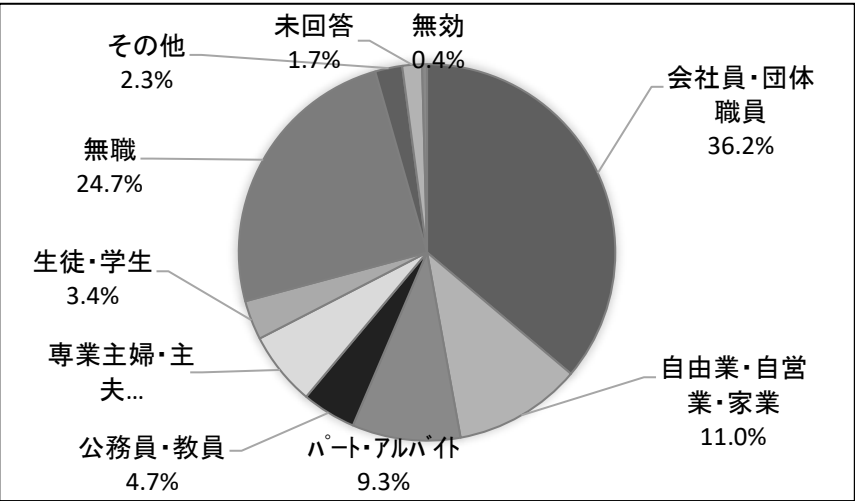
問1-5. 職業

	R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1 会社員・団体職員	171	36.2%	121	30.7%	+5.5%
2 自由業・自営業・家業	52	11.0%	42	10.7%	+0.3%
3 パート・アルバイト	44	9.3%	43	10.9%	-1.6%
4 公務員・教員	22	4.7%	18	4.6%	+0.1%
5 専業主婦・主夫	30	6.3%	30	7.6%	-1.3%
6 生徒・学生	16	3.4%	16	4.1%	-0.7%
7 無職	117	24.7%	114	28.9%	-4.2%
8 その他	11	2.3%	4	1.0%	+1.3%
未回答 未回答	8	1.7%	5	1.3%	+0.4%
無効 無効	2	0.4%	1	0.3%	+0.1%
計 計	473		394		

その他

製造業など1～7に分類できないもの

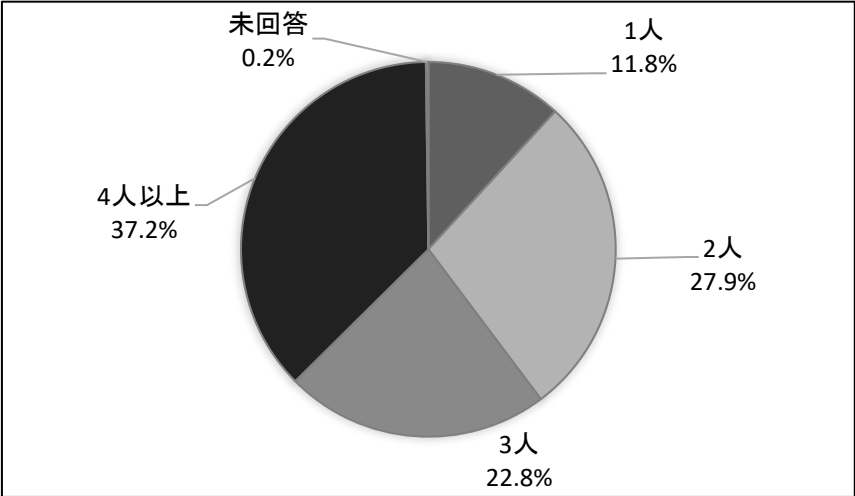
「会社員・団体職員」が36.2%、次いで「無職」が24.7%を占めた。年齢別にみると、「無職」と回答した117件のうち105件（89.7%）が60歳以上という結果が得られ、平成29年アンケートと比較して2.9ポイント上昇している。



問1-6. 世帯人数

	R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1 1人	56	11.8%	30	7.6%	+4.2%
2 2人	132	27.9%	95	24.1%	+3.8%
3 3人	108	22.8%	99	25.1%	-2.3%
4 4人以上	176	37.2%	168	42.6%	-5.4%
未回答 未回答	1	0.2%	2	0.5%	-0.3%
無効 無効	0	0.0%	0	0.0%	0.0
計 計	473		394		

最も多いのが「4人以上」で、全体の4割近くを占め、次いで「2人」「3人」の順で割合が多くなっている。平成29年アンケートと比較して、「4人以上」「3人以上」の割合が減少する一方で、「1人」「2人」割合が上昇している。



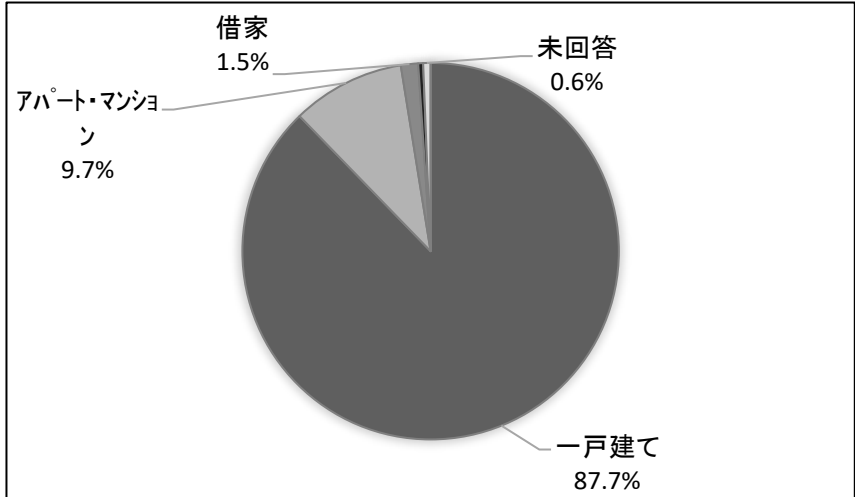
問1-7. 住居

	R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1 一戸建て	415	87.7%	339	86.0%	+1.7%
2 アパート・マンション	46	9.7%	44	11.2%	-1.5%
3 借家	7	1.5%		0.0%	+1.5%
4 その他	2	0.4%	9	2.3%	-1.9%
未回答 未回答	3	0.6%	1	0.3%	+0.3%
無効 無効	0	0.0%	1	0.3%	-0.3%
計 計	473		394		

その他

公営住宅 など

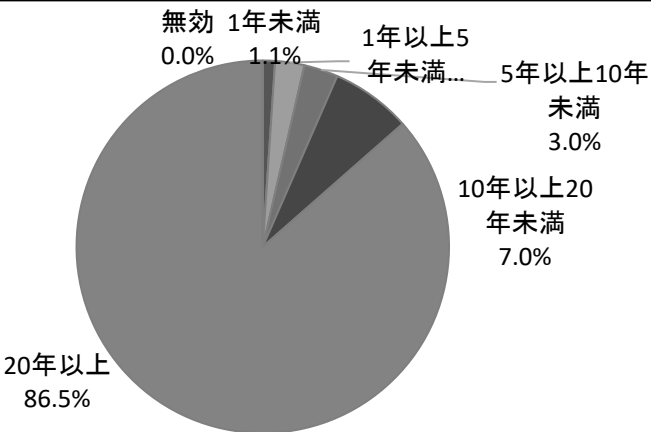
「一戸建て」という回答が最も多く、全体の約9割を占め、「アパート・マンション」という回答は約1割となっている。年齢別に見ると、年齢が高いほど「一戸建て」の割合が高くなる傾向があるが、「アパート・マンション」については大きな差異が見られない。「一戸建て」という回答のうち、60歳以上で「単身世帯」又は「夫婦のみ」という回答は105件で全体の22.2%を占め、平成29年アンケートと比較して5.7ポイント上昇している。



問1-8. 米沢市での居住年数

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	1年未満	5	1.1%	6	1.5%	-0.4%
2	1年以上5年未満	12	2.5%	21	5.3%	-2.8%
3	5年以上10年未満	14	3.0%	13	3.3%	-0.3%
4	10年以上20年未満	33	7.0%	37	9.4%	-2.4%
5	20年以上	409	86.5%	313	79.4%	+7.1%
未回答	未回答	0	0.0%	3	0.8%	-0.8%
無効	無効	0	0.0%	1	0.3%	-0.3%
計	計	473		394		

「20年以上」という回答が9割近くを占め、次いで「10年以上20年未満」が1割弱を占めた。全体として、居住年数が長い方からの回答が多かった。
住居別に見ると、「一戸建て」のうち89.9%、「アパート・マンション」のうち65.2%が「20年以上」という結果であり、平成29年アンケートと比較して、ともに20年以上の居住者の割合が増加している。

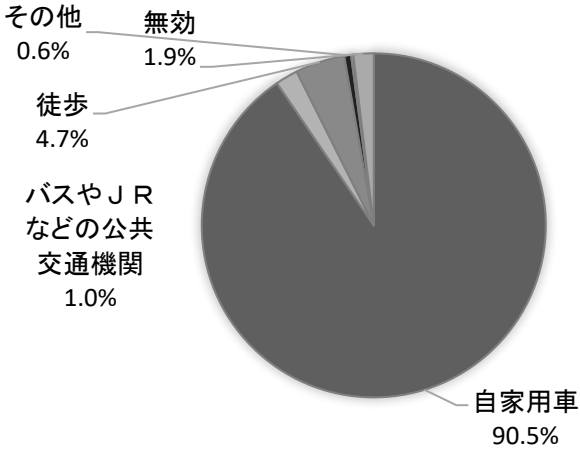


問1-9. 冬期間に最も利用する交通機関

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	自家用車	428	90.5%	341	86.5%	+4.0%
2	バスやJRなどの公共交通機関	10	2.1%	4	1.0%	+1.1%
3	徒歩	22	4.7%	24	6.1%	-1.4%
4	その他	3	0.6%	24	6.1%	-5.5%
未回答	未回答	1	0.2%	0	0.0%	+0.2%
無効	無効	9	1.9%	1	0.3%	+1.6%
計	計	473		394		

その他
乗せてもらう など

冬期間は「自家用車」を利用するという回答が9割を超えている。年齢別に見ても、すべての年齢層で「自家用車」を利用するという回答の割合が最も多いが、「20歳以上30歳未満」については、全回答35件中9件（25.7%）が「徒歩」という結果だった。「自家用車」の利用は、、平成29年アンケートと比較して4.0ポイント上昇している。

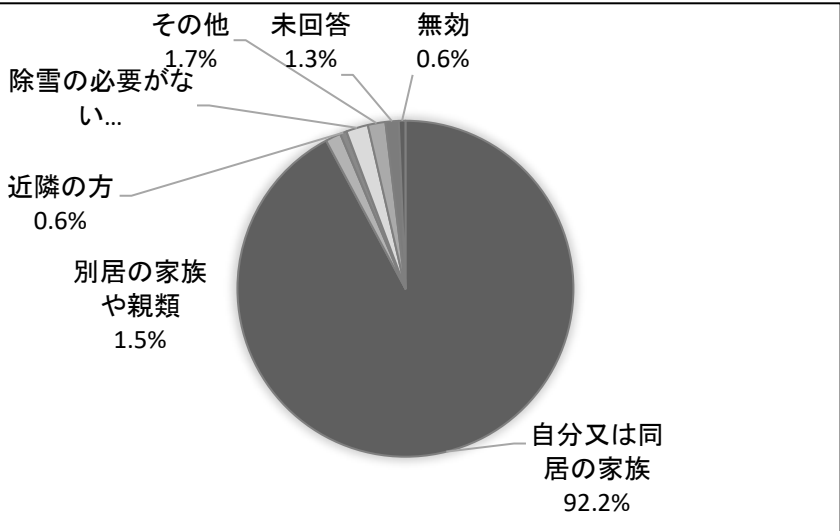


問2 家庭における雪処理の状況

問2-1. あなたのご家庭で、主に除雪を行っているのはどなたですか。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	自分又は同居の家族	436	92.2%	372	94.4%	-2.2%
2	別居の家族や親類	7	1.5%	3	0.8%	+0.7%
3	近隣の方	3	0.6%	3	0.8%	-0.2%
4	除雪ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0.0
5	除雪の必要がない	10	2.1%	4	1.0%	+1.1%
6	その他	8	1.7%	10	2.5%	-0.8%
未回答	未回答	6	1.3%	1	0.3%	+1.0%
無効	無効	3	0.6%	1	0.3%	+0.3%
計	計	473		394		

その他
業者、大家、マンション管理人 など

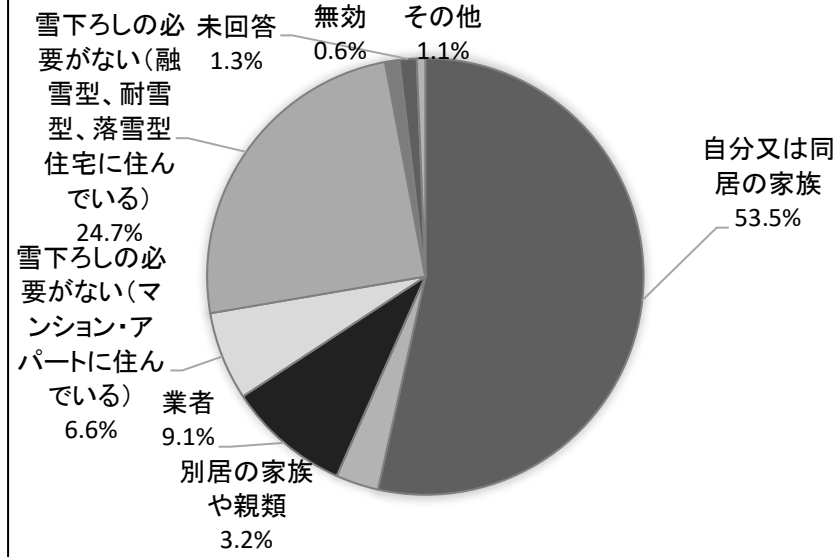


「自分又は同居の家族」の回答が9割を超えており、除雪については、世帯内で実施している状況が伺える。「自分又は同居の家族」という回答436件のうち、「70歳以上」が124件28.4%あり、その中で「1人世帯」という回答は15件3.4%あった。平成29年アンケートと比較して、ともに割合が上昇している。また、主に「除雪ボランティア」が除雪を行っているという回答はなかった。

問2-2. あなたのご家庭で、主に雪下ろしを行っているのはどなたですか。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	自分又は同居の家族	253	53.5%	235	59.6%	-6.1%
2	別居の家族や親類	15	3.2%	6	1.5%	+1.7%
3	近隣の方	0	0.0%	0	0.0%	0.0
4	業者	43	9.1%	34	8.6%	+0.5%
5	雪下ろしの必要がない(マンション・アパートに住んでいる)	31	6.6%	103	26.1%	+5.2%
6	雪下ろしの必要がない(融雪型、耐雪型、落雪型住宅に住んでいる)	117	24.7%			
7	その他	5	1.1%	15	3.8%	-2.7%
未回答	未回答	6	1.3%	1	0.3%	+1.0%
無効	無効	3	0.6%	0	0.0%	+0.6%
計	計	473		394		

その他
従業員 など

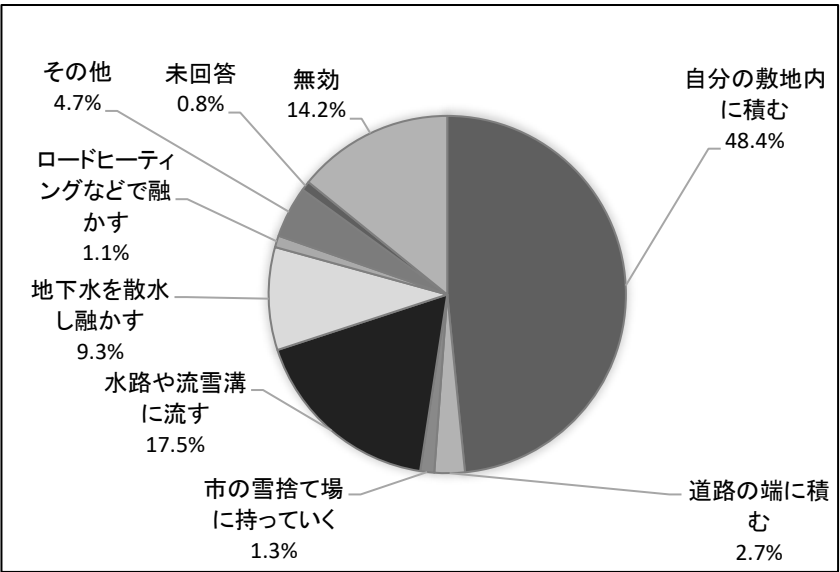


「自分又は同居の家族」という回答が全体の半数以上を占め、次いで「雪降ろしの必要がない」という回答が全体の3割を占めた。住居区分が「一戸建て」という回答の中でみると、「自分又は同居の家族」の割合(58.1%)が4.6ポイント上がる。また、60歳以上の高齢者のみの世帯(単身世帯・夫婦のみ)119件中59件(49.6%)が「自分又は同居の家族」という回答だった。平成29年アンケートと比較すると、割合に若干の変動はあるものの大きな変化は見られない。

問2-3. あなたのご家庭で、除雪や雪下ろしで発生した雪を、主にどのように処理していますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	自分の敷地内に積む	229	48.4%	149	37.8%	+10.6%
2	道路の端に積む	13	2.7%	16	4.1%	-1.4%
3	市の雪捨て場に持っていく	6	1.3%	9	2.3%	-1.0%
4	水路や流雪溝に流す	83	17.5%	98	24.9%	-7.4%
5	地下水を散水し融かす	44	9.3%	65	16.5%	-7.2%
6	ロードヒーティングなどで融かす	5	1.1%	3	0.8%	+0.3%
7	その他	22	4.7%	39	9.9%	-5.2%
未回答	未回答	4	0.8%	15	3.8%	-3.0%
無効	無効	67	14.2%		0.0%	+14.2%
計	計	473		394		

その他
隣地(田や畑、空き地)に捨てる、融雪機で処理する など



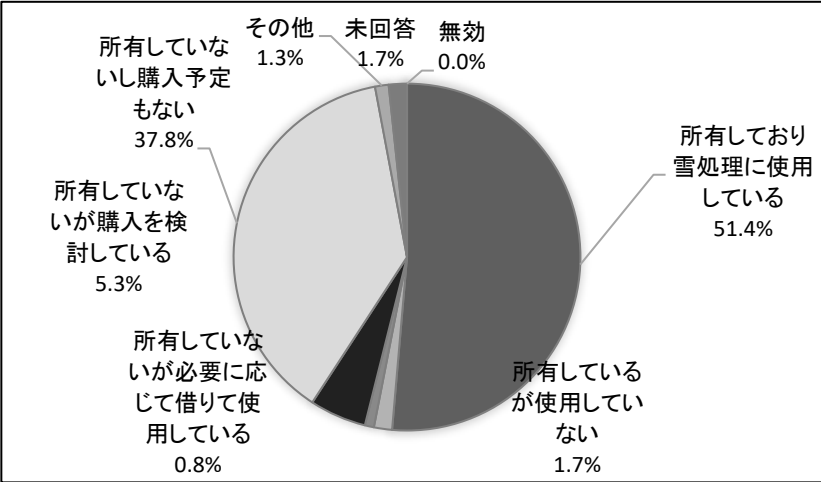
「自分の敷地内に積む」が約5割を占め、「水路や流雪溝に流す」「地下水を散水し融かす」が続いており、平成29年アンケートと同じ傾向を示している。住居別に見ると、「自分の敷地内に積む」が「一戸建て」で49.2%、「アパート・マンション」で41.3%と最も高い割合を占めた。

問2-4. あなたのご家庭における、家庭用小型除雪機などの除雪機械の所有状況等についてお聞きます。当てはまるもの一つに○をつけてください。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	所有しており雪処理に使用している	243	51.4%	178	45.2%	+6.2%
2	所有しているが使用していない	8	1.7%	8	2.0%	-0.3%
3	所有していないが必要に応じて借りて使用している	4	0.8%	7	1.8%	-1.0%
4	所有していないが購入を検討している	25	5.3%	7	1.8%	+3.5%
5	所有していないし購入予定もない	179	37.8%	171	43.4%	-5.6%
6	その他	6	1.3%	6	1.5%	-0.2%
未回答	未回答	8	1.7%	15	3.8%	-2.1%
無効	無効	0	0.0%	2	0.5%	-0.5%
計	計	473		394		

その他

トラクターを使用、所有したいが雪を飛ばせる場所がない など



「所有しており雪処理に使用している」が51.4%と5割を超え、「所有していないし購入予定もない」の37.8%を13.6ポイント上回った。住居別に見ると、「一戸建て」では「所有しており雪処理に使用している」が57.6%を占め、半数以上の家庭で家庭用小型除雪機を利用しているという結果だった。平成29年アンケート51.9%と比較すると、家庭用小型除雪機の所有率が5.7ポイント上がっている。

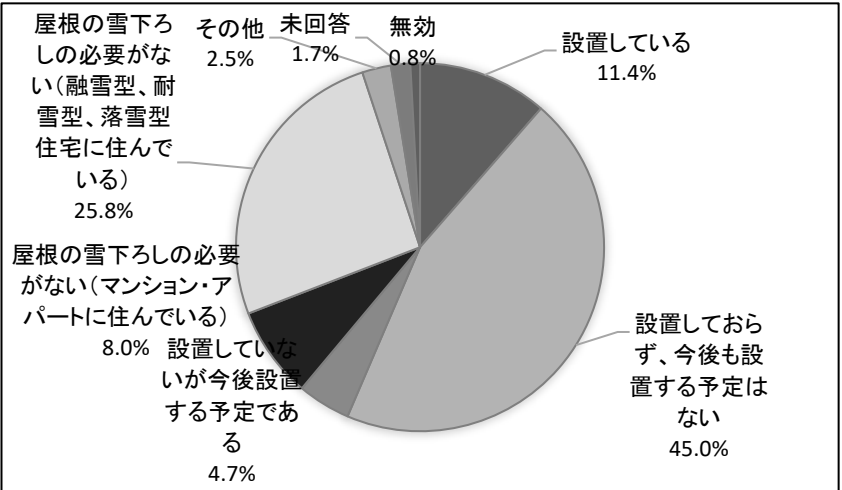
問2-5. あなたのご自宅における、命綱固定アンカー（命綱の一端を固定するために住宅の屋根などに設置された金具）の設置状況について教えてください。

R5新規

		R5.2アンケート		H29.1アンケート	
1	設置している	54	11.4%		
2	設置しておらず、今後も設置する予定はない	213	45.0%		
3	設置していないが今後設置する予定である	22	4.7%		
4	屋根の雪下ろしの必要がない（マンション・アパートに住んでいる）	38	8.0%		
5	屋根の雪下ろしの必要がない（融雪型、耐雪型、落雪型住宅に住んでいる）	122	25.8%		
6	その他	12	2.5%		
未回答	未回答	8	1.7%		
無効	無効	4	0.8%		
計	計	473			

その他

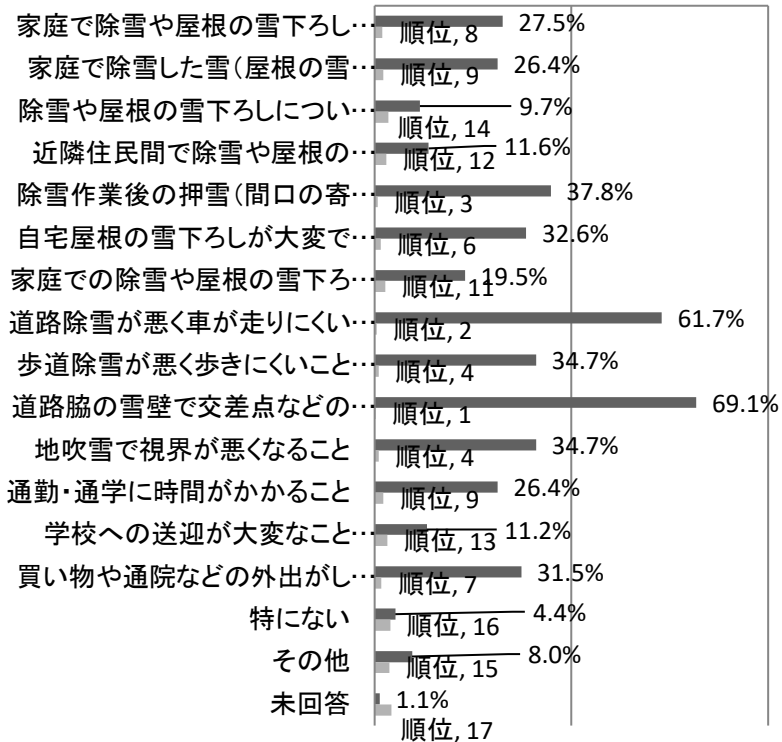
命綱固定アンカーとはどういうもの？、設置されているか分からない、設置するかは未定 など



「設置しておらず、今後も設置する予定はない」が45.0%と約半数を占め、「設置している」の11.4%を大きく上回った。「命綱固定アンカーとはどういうもの？」という回答もみられ、安全に対する意識が低い結果となった。

問3 冬期間において、あなたが不安に思ったり問題だと感じたりすること(複数回答あり)

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	家庭で除雪や屋根の雪下ろしをする人手が不足していること	130	27.5%	99	25.1%	+2.4%
2	家庭で除雪した雪(屋根の雪下ろしによるものを含む)を捨てる場所が不足して除雪や屋根の雪下ろしについて近隣とのトラブルがあること	125	26.4%	108	27.4%	-1.0%
3	近隣住民間で除雪や屋根の雪下ろしに関する支援体制が整っていないこと	46	9.7%	46	11.7%	-2.0%
4	除雪作業後の押雪(間口の寄せ雪)の処理が大変であること	55	11.6%	29	7.4%	+4.2%
5	自宅屋根の雪下ろしが大変であること	179	37.8%	136	34.5%	+3.3%
6	家庭での除雪や屋根の雪下ろし等の費用がかさむこと	154	32.6%	126	32.0%	+0.6%
7	道路除雪が悪く車が走りにくいこと(路面のデコボコやわだち、道幅が狭いなど)	92	19.5%	54	13.7%	+5.8%
8	歩道除雪が悪く歩きにくいこと(除雪されていない、滑りやすいなど)	292	61.7%	212	53.8%	+7.9%
9	道路脇の雪壁で交差点などの見通しが悪くなること	164	34.7%	126	32.0%	+2.7%
10	地吹雪で視界が悪くなること	327	69.1%	216	54.8%	+14.3%
11	通勤・通学に時間がかかること	164	34.7%	115	29.2%	+5.5%
12	学校への送迎が大変なこと (R5新規)	125	26.4%	115	29.2%	-2.8%
13	買い物や通院などの外出がしにくいこと	53	11.2%			
14	特にない	149	31.5%	103	26.1%	+5.4%
15	その他	21	4.4%	19	4.8%	-0.4%
16	その他	38	8.0%	34	8.6%	-0.6%
未回答	未回答	5	1.1%	10	2.5%	-1.4%
回答者数		473		394		



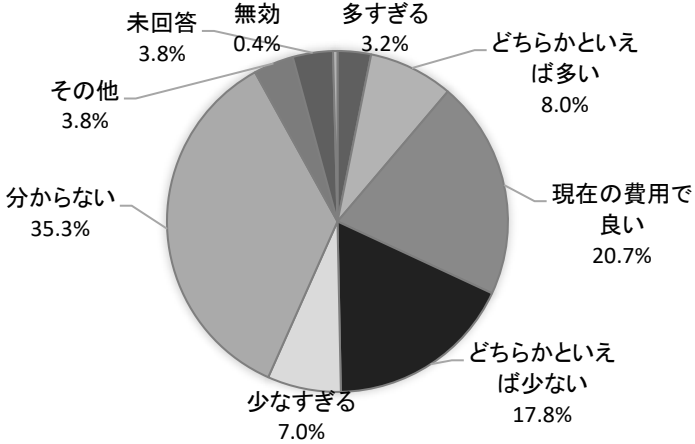
その他の内容

- ・市道除雪への意見 14件
- ・流雪溝・水路 4件
- ・安全安心(空き家の屋根雪) 1
- ・その他 19件 (除雪マナー 3件、将来への不安 4件、除雪作業員の高齢化 1件、一人親支援 1件、出張留守時に除雪ができない不安 1件、ロードヒーティング電気代が大変 1件、 天気が悪いときは外出しない 1件、その他を選択したが記載なし 7件)

「道路脇の雪壁で交差点などの見通しが悪くなること」と「道路除雪が悪く車が走りにくいこと(路面のデコボコやわだち、道幅が狭いなど)」という回答が全体の6割を超え、平成29年アンケートよりも高い割合となった。他にも、「除雪作業後の押雪(間口の寄せ雪)の処理が大変であること」「自宅屋根の雪下ろしが大変であること」「歩道除雪が悪く歩きにくいこと(除雪されていない、滑りやすいなど)」「地吹雪で視界が悪くなること」「買い物や通院などの外出がしにくいこと」という回答が全体の3割を超え、不安に思ったり問題だと感じる内容に大きな変化は見られなかった。

問4 除排雪経費の額

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	多すぎる	15	3.2%	9	2.3%	+0.9%
2	どちらかといえば多い	38	8.0%	42	10.7%	-2.7%
3	現在の費用で良い	98	20.7%	89	22.6%	-1.9%
4	どちらかといえば少ない	84	17.8%	62	15.7%	+2.1%
5	少なすぎる	33	7.0%	17	4.3%	+2.7%
6	分からない	167	35.3%	135	34.3%	+1.0%
7	その他	18	3.8%	18	4.6%	-0.8%
未回答	未回答	18	3.8%	21	5.3%	-1.5%
無効	無効	2	0.4%	1	0.3%	+0.1%
計	計	473		394		



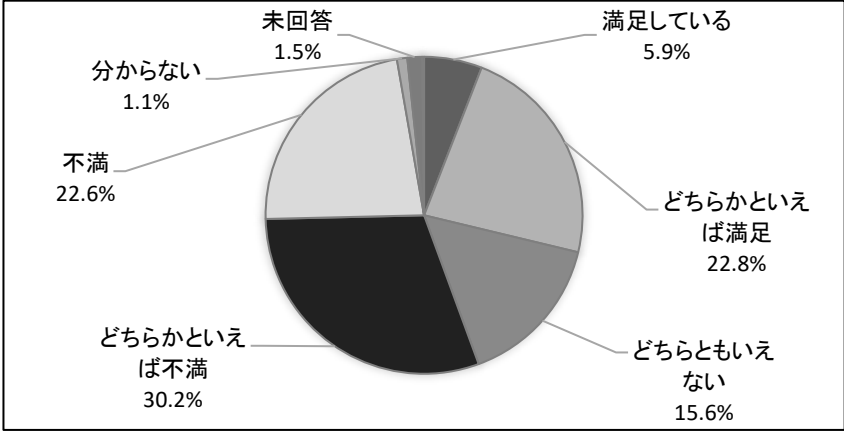
その他の内容

- ・多い(もっと効率的に除雪したほうが良い、お金かけているわりに除雪が下手すぎ など 5件)
- ・適正(その年によって増減は必要、金額は多すぎないが重要なのは除雪の仕方、生活に支障がでないよう積雪量に合わせた経費額であれば良い など 7件)
- ・分からない(比べる所がない、降雪度合いによるので、費用だけを見て適切かどうか分かるわけがない など 5件)
- ・未回答 1件

最も多い回答は「分からない」で、全体の3分の1以上の35.3%を占めた。それ以外の回答では、「現在の費用で良い」が20.7%、少ない(「少なすぎる」・「どちらかといえば少ない」)が24.8%、多い(「多すぎる」・「どちらかといえば多い」)が11.2%という結果だった。道路等の除排雪への満足度(問5)との関係を見ると、「満足」としている方は「現在の費用で良い」、「不満」としている方は「どちらかといえば少ない」とする傾向があった。

問5 道路等の除排雪について
問5-1. 道路の除排雪に満足していますか。

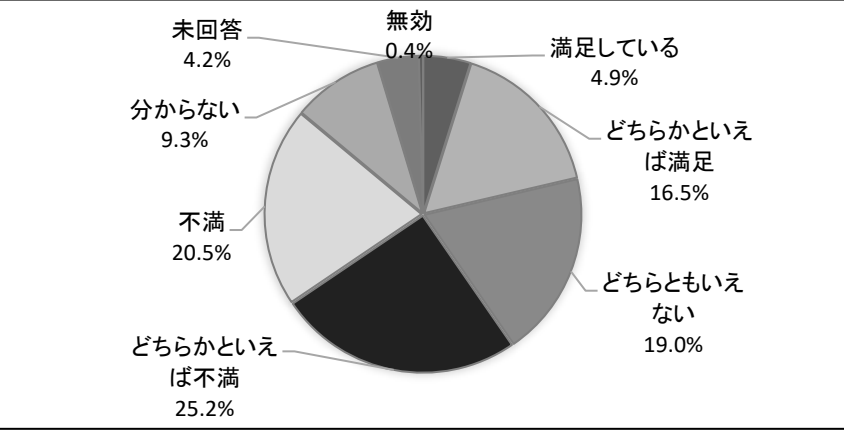
		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	満足している	28	5.9%	22	5.6%	+0.3%
2	どちらかといえば満足	108	22.8%	90	22.8%	0.0
3	どちらともいえない	74	15.6%	87	22.1%	-6.5%
4	どちらかといえば不満	143	30.2%	105	26.6%	+3.6%
5	不満	107	22.6%	72	18.3%	+4.3%
6	分からない	5	1.1%	4	1.0%	+0.1%
未回答	未回答	7	1.5%	14	3.6%	-2.1%
無効	無効	1	0.2%	0	0.0%	+0.2%
計	計	473		394		



「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせると52.8%となり、平成29年アンケートと比較して7.9ポイント上昇した。一方「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると28.7%となり、全体の4分の1以上は現状に満足しているという結果で、平成29年アンケートと比較してほぼ同じ割合であった。これを年齢別に見ると、60代の「不満」の割合が最も高く(21.5%)、年齢が上がるに従って満足しているが上がる傾向にあった。

問5-2. 歩道の除排雪に満足していますか。

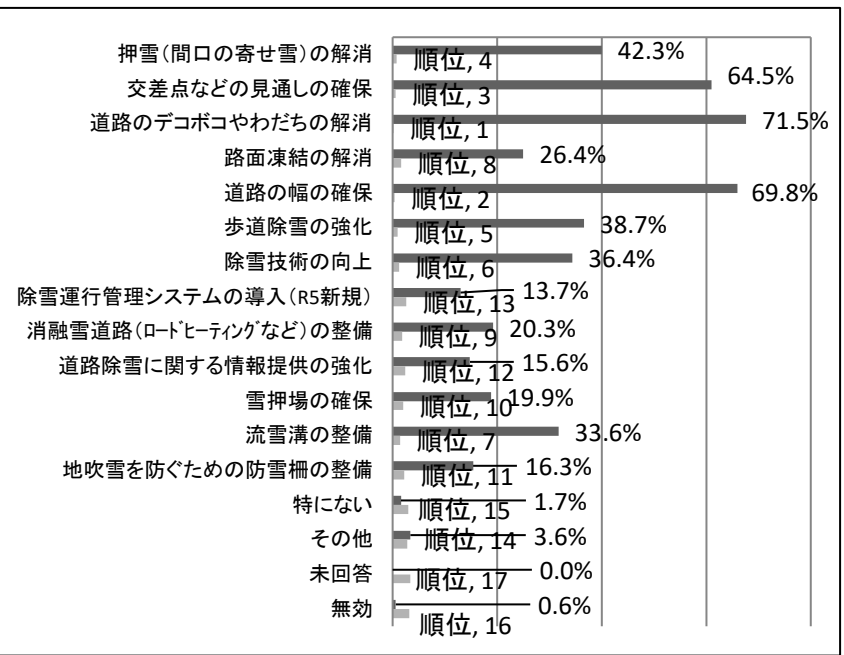
		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	満足している	23	4.9%	8	2.0%	+2.9%
2	どちらかといえば満足	78	16.5%	64	16.2%	+0.3%
3	どちらともいえない	90	19.0%	90	22.8%	-3.8%
4	どちらかといえば不満	119	25.2%	105	26.6%	-1.4%
5	不満	97	20.5%	76	19.3%	+1.2%
6	分からない	44	9.3%	35	8.9%	+0.4%
未回答	未回答	20	4.2%	15	3.8%	+0.4%
無効	無効	2	0.4%	1	0.3%	+0.1%
計	計	473		394		



「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせると45.7%となり、全体の半数近くを占める。一方「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせると21.4%となり、道路の除排雪に比べて、満足度が低いという結果だった。これを年代別に見ると、年齢が下がるほど、満足度が下がる傾向にあった。また、「冬期間に最も利用する交通機関別」に見ると、「徒歩」の満足度がかなり低い傾向にあった。全体的にみて、平成29年アンケートとほぼ同様の結果であった。

問6 除排雪に関する満足度を高めるために優先すべきこと(複数回答あり)

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	押雪(間口の寄せ雪)の解消	200	42.3%	166	42.1%	+0.2%
2	交差点などの見通しの確保	305	64.5%	185	47.0%	+17.5%
3	道路のデコボコやわだちの解消	338	71.5%	241	61.2%	+10.3%
4	路面凍結の解消	125	26.4%	133	33.8%	-7.4%
5	道路の幅の確保	330	69.8%	208	52.8%	+17.0%
6	歩道除雪の強化	183	38.7%	142	36.0%	+2.7%
7	除雪技術の向上	172	36.4%	142	36.0%	+0.4%
8	除雪運行管理システムの導入(R5新規)	65	13.7%			
9	消融雪道路(ロードヒーティングなど)の整備	96	20.3%	97	24.6%	-4.3%
10	道路除雪に関する情報提供の強化	74	15.6%	32	8.1%	+7.5%
11	雪押場の確保	94	19.9%	65	16.5%	+3.4%
12	流雪溝の整備	159	33.6%	129	32.7%	+0.9%
13	地吹雪を防ぐための防雪柵の整備	77	16.3%	51	12.9%	+3.4%
14	特にない	8	1.7%	1	0.3%	+1.4%
15	その他	17	3.6%	10	2.5%	+1.1%
未回答	未回答	0	0.0%	13	3.3%	-3.3%
無効	無効	3	0.6%		0.0%	+0.6%
回答	回答者数	473		394		



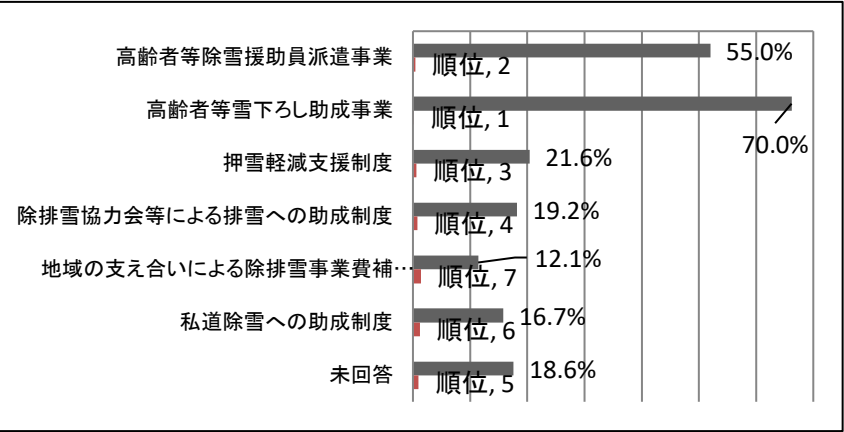
その他の内容

- ・除雪の時間帯(来るのが遅い) ・圧雪を残さない除雪
- ・除雪した後の排雪(交差点等の幅員確保) ・雪壁の解消(高さを一定にしてほしい)
- ・国、県、市道や除雪業者の受け持ち区間の境目の段差解消(業者間の連携を図ってほしい)
- ・通学路の安全確保 など

「道路のデコボコやわだちの解消」「道路の幅の確保」「交差点などの見通しの確保」道路除雪に関する情報提供の強化」が、平成29年アンケートよりもかなり高い割合を示すなど、道路の除排雪に関連する項目の割合が高い結果となり、「冬期間に最も利用する交通機関別」で「自家用車」と回答した方では、さらに高い割合を示した。一方、「押雪(間口の寄せ雪)の解消」、「流雪溝の整備」については、一戸建ての家庭の回答率が高くなる傾向にあった。

問7 本市の制度について
問7-1. 本市が行っている次の制度のうち、知っているもの全てに○をつけてください。（複数回答あり）

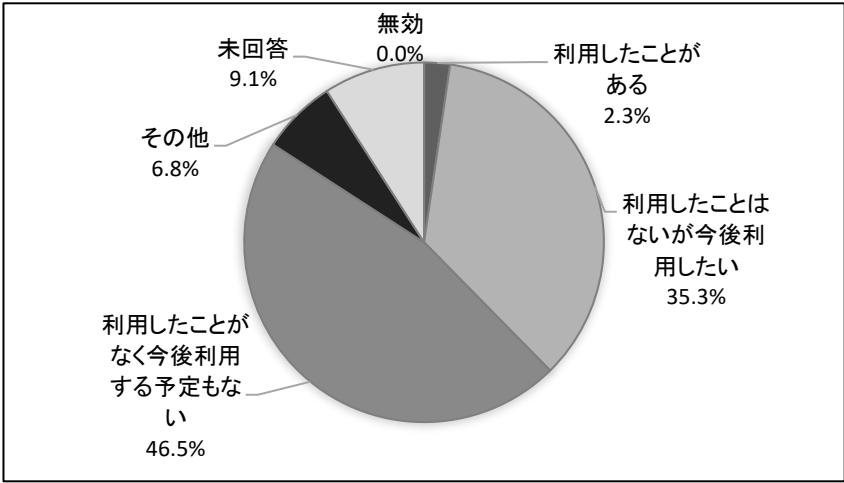
R5.2アンケート			H29.1アンケート		差
1	高齢者等除雪援助員派遣事業	260 55.0%	192	48.7%	+6.3%
2	高齢者等雪下ろし助成事業	331 70.0%	257	65.2%	+4.8%
3	押雪軽減支援制度	102 21.6%	40	10.2%	+11.4%
4	除排雪協力会等による排雪への助成制度	91 19.2%	110	27.9%	-8.7%
5	地域の支え合いによる除排雪事業費補助金（R5新規）	57 12.1%			
6	私道除雪への助成制度	79 16.7%	80	20.3%	-3.6%
未回答		88 18.6%			+18.6%
回答者数		473			394



「高齢者等雪下ろし助成事業」については70.0%が「知っている」と回答し、次に多い「高齢者等除雪援助員派遣事業」を含めて、高齢者に対する制度の認知度は平成29年アンケートより高い結果だった。一方、町内会や除排雪協力会などを対象としたそれ以外の制度については、一般的な認知度はあまり高くない結果となった。全体的に、年齢が高くなるほど認知度は高くなる傾向にあった。

問7-2. 「高齢者等除雪援助員派遣事業」について当てはまるものに○をつけてください。

R5.2アンケート			H29.1アンケート		差
1	利用したことがある	11 2.3%	5	1.3%	+1.0%
2	利用したことはないが今後利用したい	167 35.3%	127	32.2%	+3.1%
3	利用したことがなく今後利用する予定もない	220 46.5%	195	49.5%	-3.0%
4	その他	32 6.8%	19	4.8%	+2.0%
未回答		43 9.1%	47	11.9%	-2.8%
無効		0 0.0%	1	0.3%	-0.3%
計		473			394



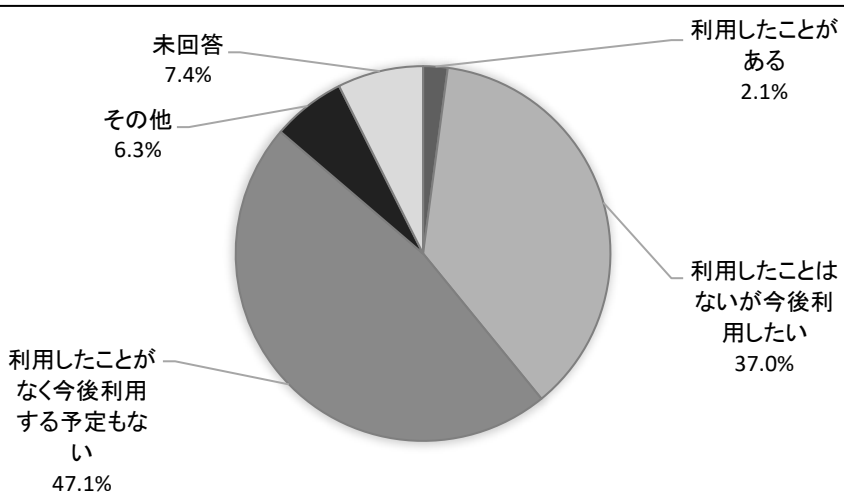
その他の内容

- ・可能な限り自分で、当面は利用しない
- ・利用できる方が限られているので利用したくてもできない
- ・自身が高齢となった時、そのような支援がそれまで続いてるか不安
- ・今回知った
- ・わからない など

「利用したことがなく今後利用する予定もない」という回答が半数近くとなった一方で、「利用したことはないが今後利用したい」という回答が3割を超えるという結果だった。年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「今後利用したい」という回答が多くなる傾向にある。平成29アンケートと比較して、傾向に大きな変化は見られない。

問7-3. 「高齢者等雪下ろし助成事業」について当てはまるものに○をつけてください。

R5.2アンケート			H29.1アンケート		差
1	利用したことがある	10 2.1%	15	3.8%	-1.7%
2	利用したことはないが今後利用したい	175 37.0%	123	31.2%	+5.8%
3	利用したことがなく今後利用する予定もない	223 47.1%	194	49.2%	-2.1%
4	その他	30 6.3%	18	4.6%	+1.7%
未回答		35 7.4%	44	11.2%	-3.8%
無効		0 0.0%	0	0.0%	0.0
計		473			394



その他 別紙のとおり

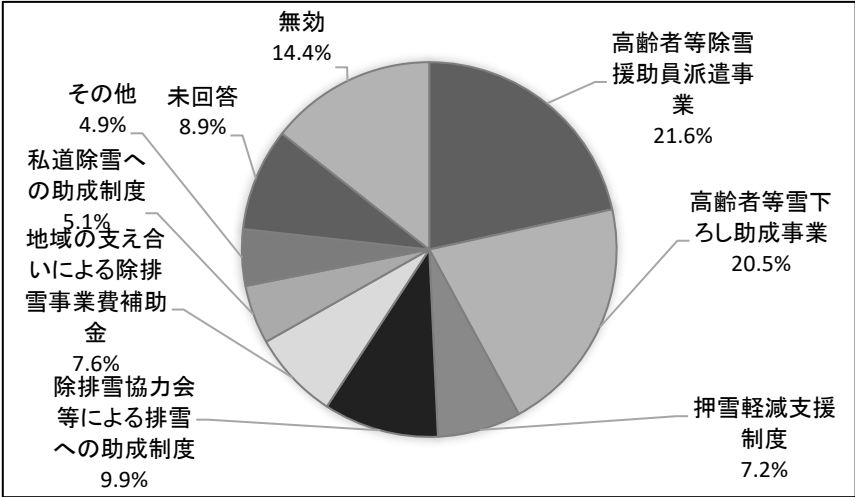
その他の内容

- ・可能な限り自分で、当面は利用しない
- ・利用できる方が限られているので利用したくてもできない
- ・登録はしているが書類が面倒で利用してない
- ・わからない、状況による など

問7-2の「高齢者等除雪援助員派遣事業」とほぼ同じ割合になっている。年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「今後利用したい」という回答が多くなる傾向にあり、60歳以上では、「今後利用する予定もない」よりも「今後利用したい」という回答が多い結果であった。

問7-4. 問7-1に記載している6つの制度について、本市では特にどの制度に重点を置くべきだと思いますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

設問方法の変更		R5.2アンケート		H29.1アンケート
1	高齢者等除雪援助員派遣事業	102	21.6%	制度についての自由意見
2	高齢者等雪下ろし助成事業	97	20.5%	
3	押雪軽減支援制度	34	7.2%	
4	除排雪協力会等による排雪への助成制度	47	9.9%	
5	地域の支え合いによる除排雪事業費補助金	36	7.6%	
6	私道除雪への助成制度	24	5.1%	
7	その他	23	4.9%	
未回答		42	8.9%	
無効 無効		68	14.4%	
計 計		473		



その他の内容

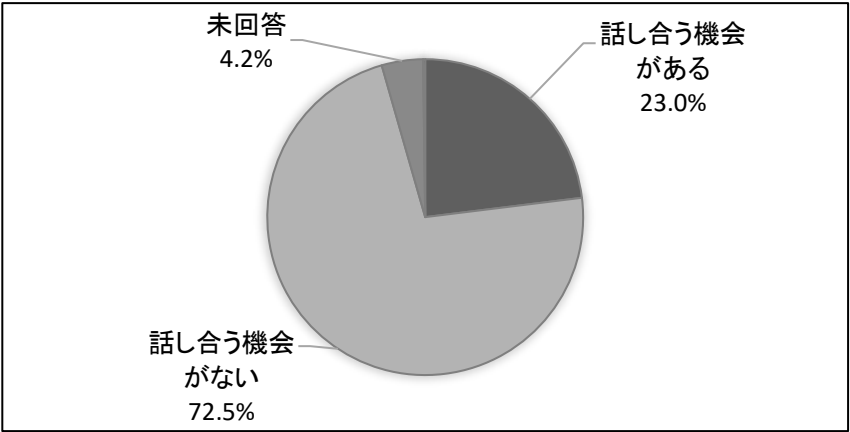
- ・流雪溝の新規拡充
- ・豪雪の米沢でどれも欠けてはいけない制度、1つ選ぶなんて愚問、全てが重点施策だと思う
- ・費用や人的労力がかからない仕組みづくり
- ・助成事業全般が少ない、女性世帯にも雪下ろし助成があればありがたい
- ・排雪のスピードを上げてほしい
- ・制度がある事自体、知らない人が多いので啓発が必要
- ・雪の多い米沢で年老いていく父母を残そうと思えなくなってきた 交通手段も少ない米沢の課題かと思う など

「高齢者等除雪援助員派遣事業」と「高齢者等雪下ろし助成事業」を合わせると4割強を占め、高齢者に対する制度(支援)に重点を置くべきとの意見が多い結果となった。

問8 除雪ボランティアについて（R5新規）

問8-1. お住まいの地域では、住民同士で除排雪に関する課題を話し合う機会がありますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

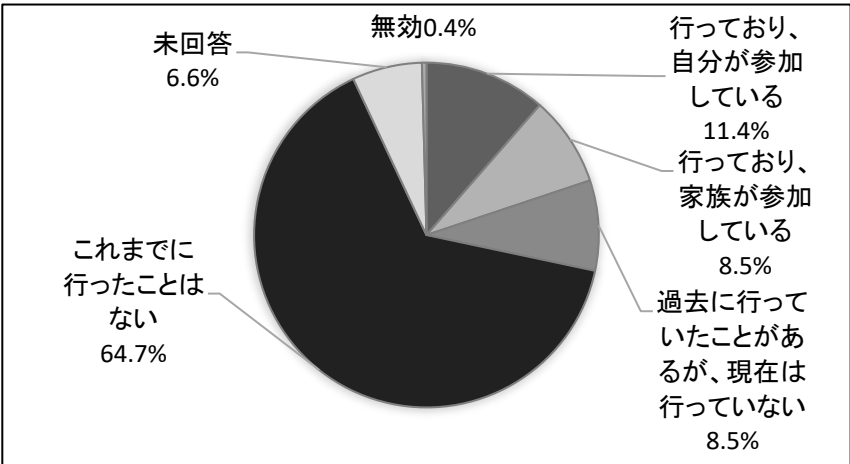
R5新規		R5.2アンケート		H29.1アンケート	
1	話し合う機会がある	109	23.0%		
2	話し合う機会がない	343	72.5%		
未回答		20	4.2%		
無効		1	0.2%		
計		473			



「話し合う機会がない」が7割以上を占め、「話し合う機会がある」の23.0%を大きく上回る結果となった。

問8-2. お住まいの地域では、住民同士で協力して除排雪活動を行っていますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

R5新規		R5.2アンケート		H29.1アンケート	
1	行っており、自分が参加している	54	11.4%		
2	行っており、家族が参加している	40	8.5%		
3	過去に行っていたことがあるが、現在は行っていない	40	8.5%		
4	これまでに行ったことはない	306	64.7%		
未回答		31	6.6%		
無効		2	0.4%		
計		473			

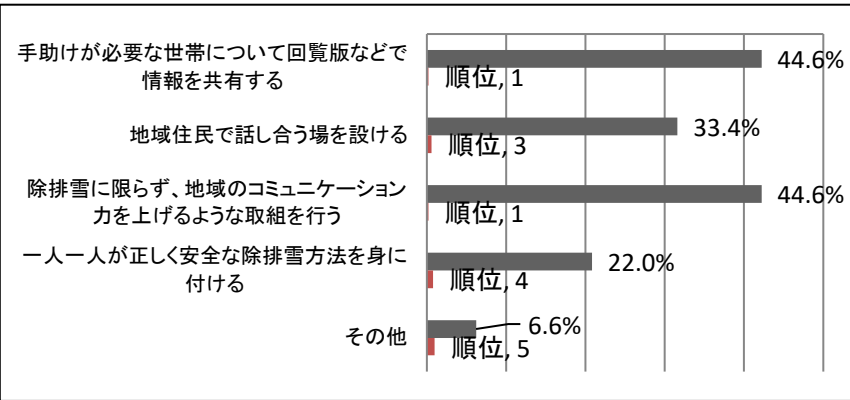


「これまでに行ったことはない」が64.7%を占め、他の項目を大きく上回る結果となった。

問8-3. 自力で除排雪できない高齢者世帯を助けるなど、地域の中で支え合って除排雪活動を行うには、どんなことが必要だと思いますか。

当てはまるもの全てに○をつけてください。（複数回答あり）

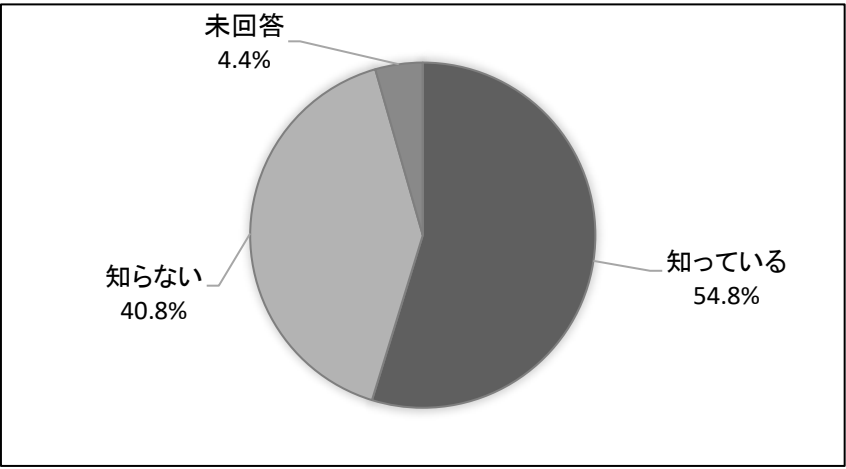
R5新規		R5.2アンケート		H29.1アンケート	
1	手助けが必要な世帯について回覧版などで情報を共有する	211	44.6%		
2	地域住民で話し合う場を設ける	158	33.4%		
3	除排雪に限らず、地域のコミュニケーション力を上げるような取組を行う	211	44.6%		
4	一人一人が正しく安全な除排雪方法を身に付ける	104	22.0%		
5	その他	31	6.6%		
計		473			



「手助けが必要な世帯について回覧版などで情報を共有する」と「除排雪に限らず、地域のコミュニケーション力を上げるような取組を行う」がともに44.6%と5割近くを占める結果となった。

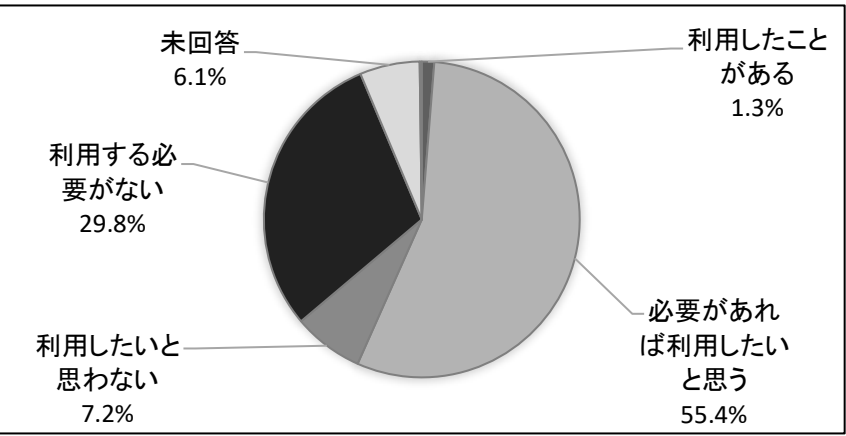
問9 高齢者や障がいのある方への除雪支援活動
問9-1. 除雪ボランティアがあることを知っていますか。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	知っている	259	54.8%	255	64.7%	-9.9%
2	知らない	193	40.8%	129	32.7%	+8.1%
未回答	未回答	21	4.4%	10	2.5%	+1.9%
無効	無効	0	0.0%	0	0.0%	0.0
計	計	473		394		



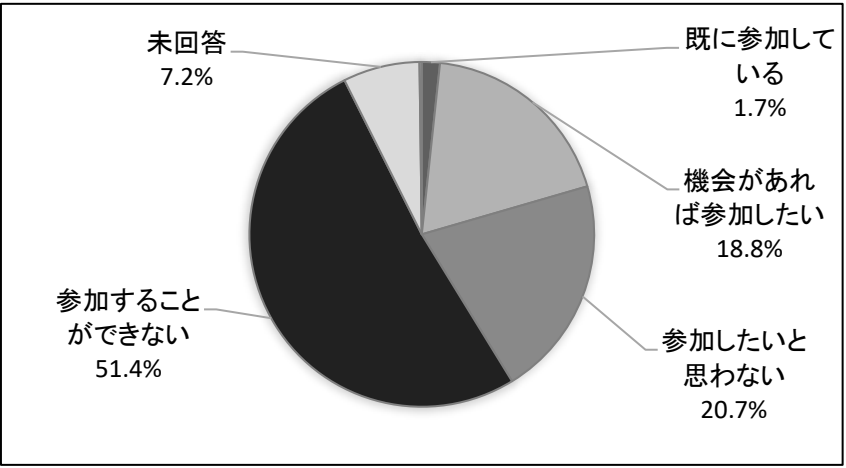
問9-2. 除雪ボランティアを利用したいと思いますか。

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	利用したことがある	6	1.3%	2	0.5%	+0.8%
2	必要があれば利用したいと思う	262	55.4%	212	53.8%	+1.6%
3	利用したいと思わない	34	7.2%	35	8.9%	-1.7%
4	利用する必要がない	141	29.8%	130	33.0%	-3.2%
未回答	未回答	29	6.1%	15	3.8%	+2.3%
無効	無効	1	0.2%	0	0.0%	+0.2%
計	計	473		394		



問9-3. 除雪ボランティアとして活動してみたいと思いますか。

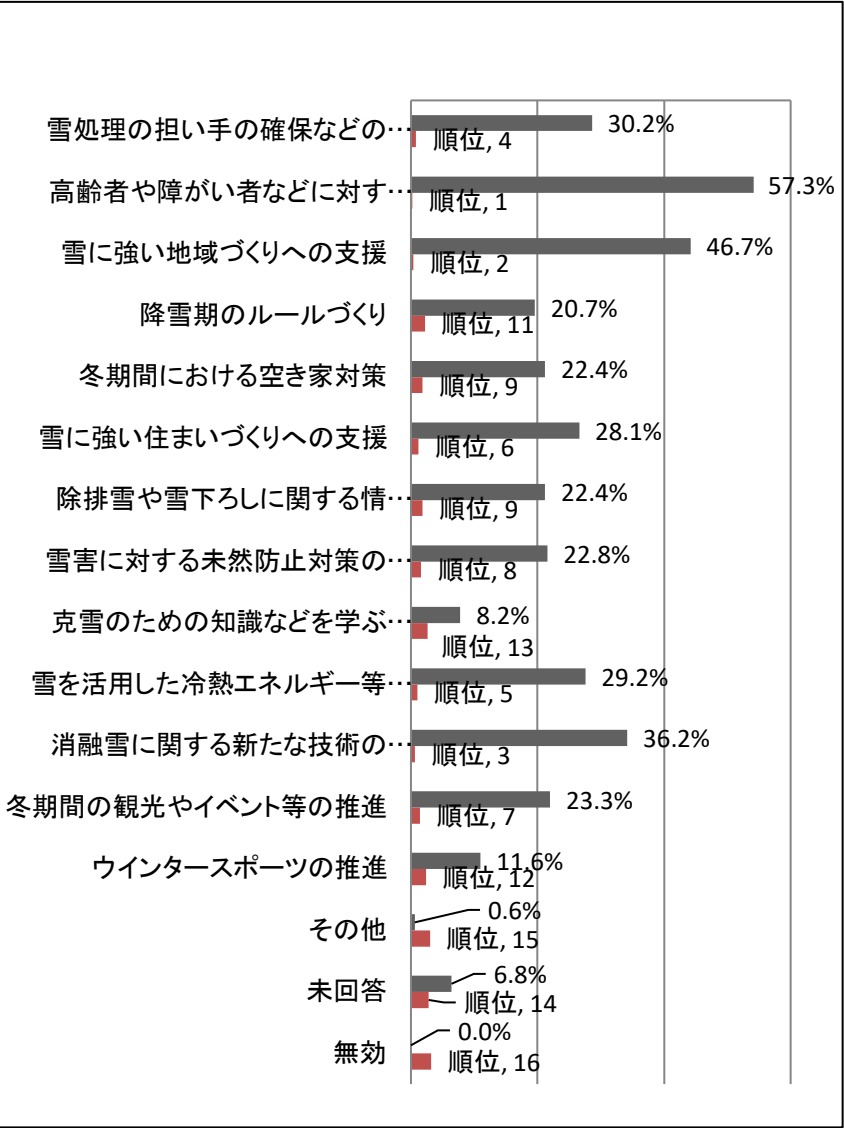
		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	既に参加している	8	1.7%	5	1.3%	+0.4%
2	機会があれば参加したい	89	18.8%	73	18.5%	+0.3%
3	参加したいと思わない	98	20.7%	84	21.3%	-0.6%
4	参加することができない	243	51.4%	206	52.3%	-0.9%
未回答	未回答	34	7.2%	26	6.6%	+0.6%
無効	無効	1	0.2%	0	0.0%	+0.2%
計	計	473		394		



除雪ボランティアについて、「あることを知っている」と回答した方は54.8%で、平成29年アンケートと比較して9.9ポイント減少している。また、実際に「利用したことがある」と答えた方は全体の1.3%で、「既になに参加している」と答えた方も1.7%とかなり低い割合となっている。一方、除雪ボランティアを「必要があれば利用したいと思う」と答えた方は、全体の半数を超える結果であった。また、除雪ボランティアの活動について「機会があれば参加したい」と回答した方は、年齢により大きな差異は見られないが、年齢が高くなるほど「参加することができない」と回答する割合が増える傾向がみられた。

問10 これから取り組んでいくべきこと(複数回答あり)

		R5.2アンケート		H29.1アンケート		差
1	雪処理の担い手の確保などのためのボランティア育成	143	30.2%	100	25.4%	+4.8%
2	高齢者や障がい者などに対する支援体制の強化	271	57.3%	244	61.9%	-4.6%
3	雪に強い地域づくりへの支援	221	46.7%	133	33.8%	+12.9%
4	降雪期のルールづくり	98	20.7%	86	21.8%	-1.1%
5	冬期間における空き家対策	106	22.4%	89	22.6%	-0.2%
6	雪に強い住まいづくりへの支援	133	28.1%	116	29.4%	-1.3%
7	除排雪や雪下ろしに関する情報提供の充実	106	22.4%	76	19.3%	+3.1%
8	雪害に対する未然防止対策の強化	108	22.8%	95	24.1%	-1.3%
9	克雪のための知識などを学ぶ機会の創出	39	8.2%	27	6.9%	+1.3%
10	雪を活用した冷熱エネルギー等の利用促進	138	29.2%	138	35.0%	-5.8%
11	消融雪に関する新たな技術の開発	171	36.2%	148	37.6%	-1.4%
12	冬期間の観光やイベント等の推進	110	23.3%	94	23.9%	-0.6%
13	ウィンタースポーツの推進	55	11.6%	42	10.7%	+0.9%
14	その他	3	0.6%	6	1.5%	-0.9%
未回答		32	6.8%	20	5.1%	+1.7%
無効		0	0.0%		0.0%	0.0
回答者数		473		394		



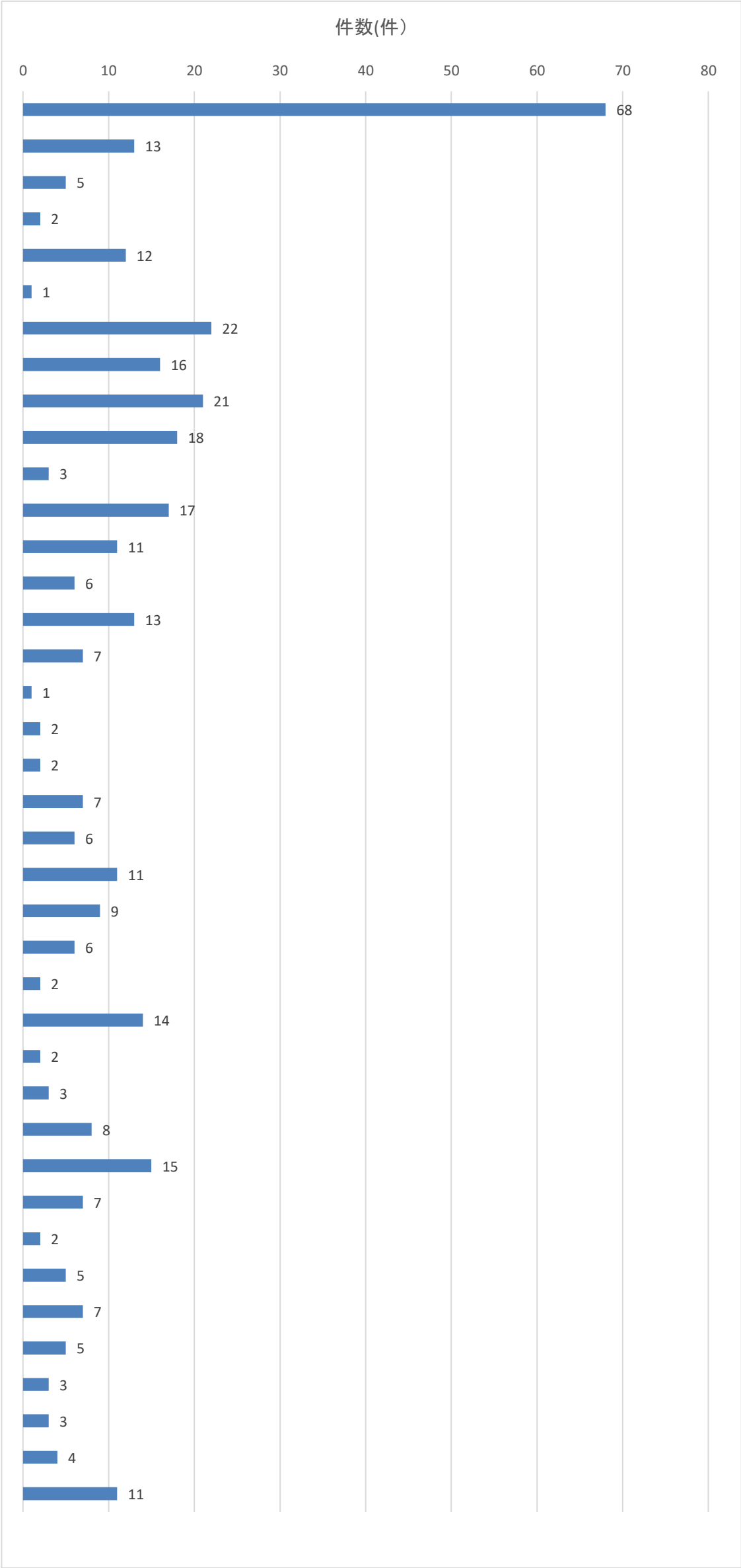
その他の内容

- ・コンパクトシティの推進、冬期間のみ中心部へ移住する仕組みを整える
- ・現行の支援制度は「届出制」だが、声を出せない人が多い高齢独居世帯など行政が手を差しのべる対応ができるようにしてほしい

「高齢者や障がい者などに対する支援体制の強化」が57.3%と最も多く、全年齢層での回答率が高かった。次いで「雪に強い地域づくりへの支援」が46.7%と続き、平成29年アンケートと比較して12.9ポイント増加し、50歳代からの回答が多かった。全体の3割を超える回答のうち、「消融雪に関する新たな技術の開発」は60歳代から、「雪処理の担い手の確保などのためのボランティア育成」については70歳代からの回答がそれぞれ多い結果を示した。

問11 自由記述（項目別件数）

自由意見 項目別		件数(件)	順位（位）	割合(%)
除排雪	道路除雪	68	1	18.4
	歩道除雪	13	9	3.5
	除雪の時間帯	5	24	1.4
	道路凍結対策	2	32	0.5
	消雪道路	12	11	3.2
	ロードヒーティング	1	38	0.3
	排雪	22	2	5.9
	押雪	16	6	4.3
	雪壁	21	3	5.7
	除雪技術の向上	18	4	4.9
	除雪業者の指導・教育	3	28	0.8
	流雪溝・水路	17	5	4.6
	雪押場（雪捨て場）	11	12	3
	消融雪	6	21	1.6
支援	高齢者・障がい者支援	13	9	3.5
	雪下ろし支援	7	17	1.9
	ひとり親支援	1	38	0.3
	私道除雪助成	2	32	0.5
	除排雪助成	2	32	0.5
	雪国支援	7	17	1.9
	除雪ボランティア	6	21	1.6
	共助	11	12	3
	情報提供	9	15	2.4
	ルールづくり	6	21	1.6
安全	雪下ろし安全対策	2	32	0.5
	通学の安全	14	8	3.8
	空家対策	2	32	0.5
移住	集合住宅等へ転居	3	28	0.8
	雪がない所へ移住	8	16	2.2
マナー	マナーの徹底	15	7	4.1
	思いやり・意識改革	7	17	1.9
まちづくり	雪に強いまちづくり	2	32	0.5
	雪に強い住まいづくり	5	24	1.4
	雪に強い道路整備	7	17	1.9
その他	観光・イベントの推進	5	24	1.4
	ウィンタースポーツ	3	28	0.8
	雪エネルギー	3	28	0.8
	将来への不安	4	27	1.1
	その他	11	12	3
計		370		100



主な意見

意見数1位 道路除雪について

- ・雪道がガタガタだったりツルツルだったり、道が悪い時すぐ対処してほしい。
- ・もっと道路の除雪をきれいにしてほしい。（道が狭い、雪の壁で危険）
- ・通勤に支障をきたしている。道幅をとにかく毎日確保する除雪をしてほしい。
- ・雪対策については精一杯やられてと思いますが、まだまだ除排雪については足りない。
- ・県道と市道の堺の段差を何とかしてほしい。
- ・雪国なのだからもっとお金をかけるべき。

意見数2位 排雪について

- ・除雪だけでなく、排雪に力を入れていただきたい。排雪をすることで押雪の解消や高齢者の除雪がやりやすいと考える。
- ・車がすれ違えなくなっている道路は早めに排雪していただきたい。
- ・路肩の排雪が遅い。

意見数3位 雪壁について

- ・雪壁の高さはせめて歩道を歩いたり除雪している人の姿が見通せるくらいで排雪していただきたい。
- ・十字路の角地に雪が残っていて見通しが悪く危険である。
- ・交差点等の道路の雪壁はなんとかしてほしい。